

# SLIDE DOOR

CREATING A PEOPLE-FRIENDLY SILENT ENVIRONMENT

## 取扱説明書

SR, SL, SLB, SAT, SAT-nc, SRF-J, SRF-Jnc, SBF,  
SR2連動(RRB-a), KR, TR, KB, KBF-J



この取扱説明書をよくお読みのうえ、スライドドアを正しくお使いください。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管し、わからないときは再度お読みください。

※施工された方へ…

この「取扱説明書」を実際に使用される方へ必ずお渡しください。

いつでも使用できるように大切に保管してください。

## はじめに

このたび、当社の『スライドドア』をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

この取扱説明書は、『スライドドア』をいつも最良の状態に保ちお客様の合理化、効率化により一層お役立て出来ますよう正しい使い方や簡単な保守の仕方を記載してあります。記載事項を守らないと重大な人身事故につながる恐れがあります。

ご使用の前に本書をよくお読みいただき、安全に注意し、永くご使用いただきますようお願い致します。

## 安全にお使いいただくために

- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
その後、大切に保管し、必要なときに再度お読みください。
- 取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用いただく方々への危害や財産への損害を未然に防止する為に表示しています。表示と意味は次のようになっております。これらの表示のある部分は記載内容をお読みの上、十分に注意してください



**警告**

この表示を無視して、取り扱いをおこなった場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、取り扱いをおこなった場合に、軽傷を負うかまたは物的損害の可能性が想定される内容を示しています。

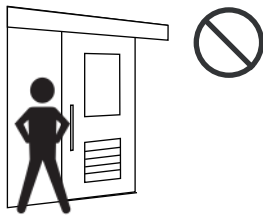
## ご使用上の注意



**警告**...

次のような注意を守らないと、重大な事故または器物破損の可能性があるので、絶対におやめください。

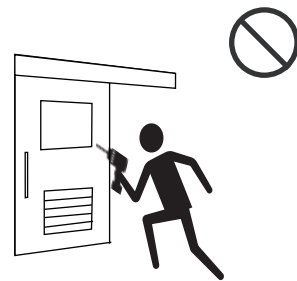
開いているドアの間で立ち止まらないでください。



台車や重いものを持って通行する場合、ドアの反対側の人等の存在を確認してください。



ドアの分解・改造・修理等は故障や事故の原因となりますので絶対にしないでください。



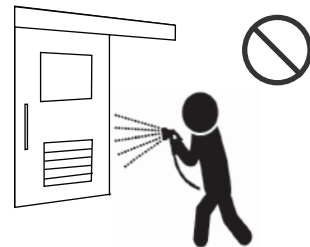
ドアの開閉を利用して、幼児や子供を絶対に遊ばせないでください。



ドアの開まりかけているときの「出入り」は絶対にしないでください。



ドアやレールに水をかけないでください。ドア内側に水滴が残りサビ、劣化の原因となります。また、レール内部に水が浸入すると開閉動作不良になる場合があります。



静かにドアを引いて開閉してください。



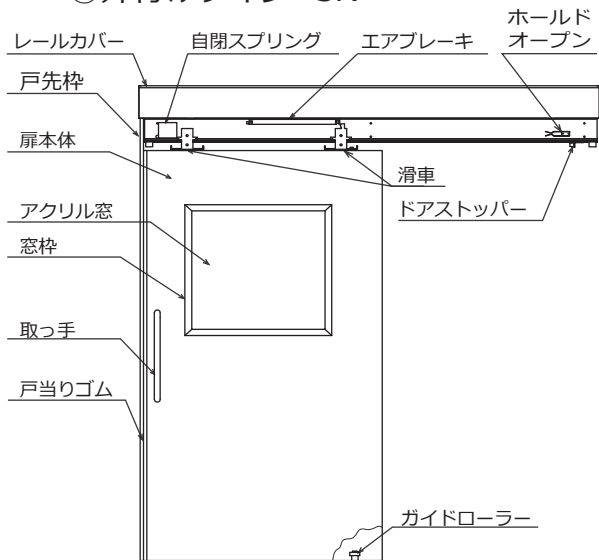
ドアの下部、ドアと枠及びドアと戸袋の隙間に手、指、足を入れないようにしてください。



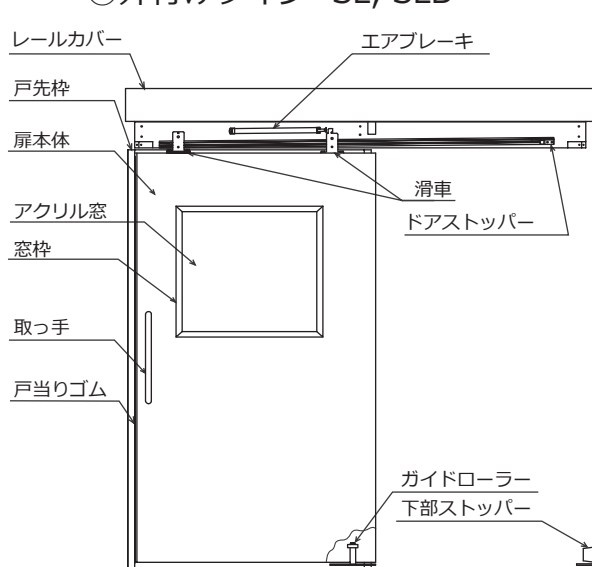
# 製品の概要

## [1] 各部の名称

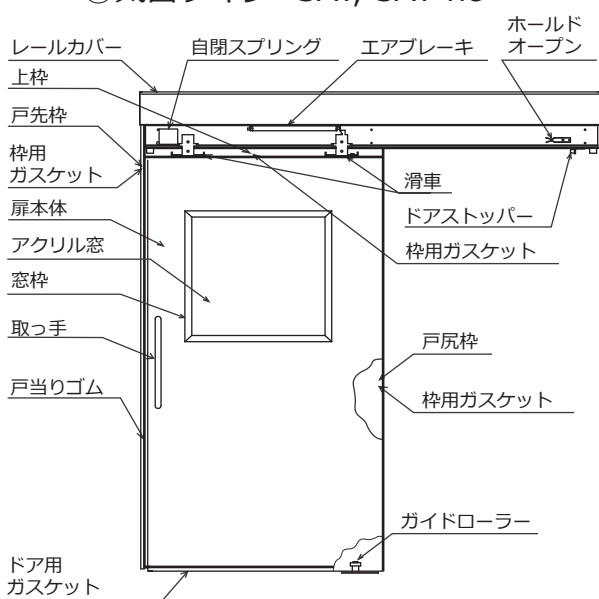
①外付けタイプ SR <スプリング式>



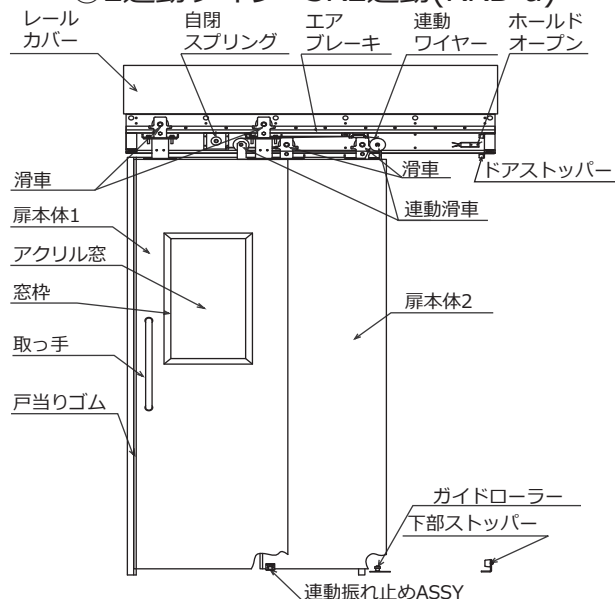
②外付けタイプ SL, SLB <傾斜レール式>



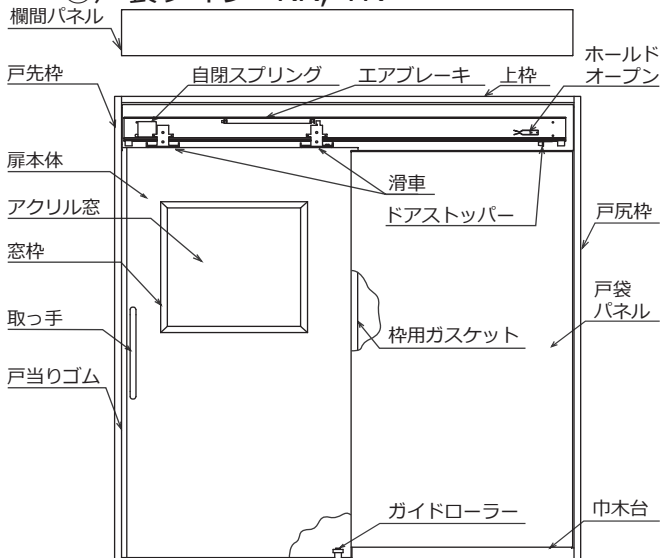
③気密タイプ SAT, SAT-nc <スプリング式>



④2連動タイプ SR2連動(RRB-a) <スプリング式>



⑤戸袋タイプ KR, TR <スプリング式>



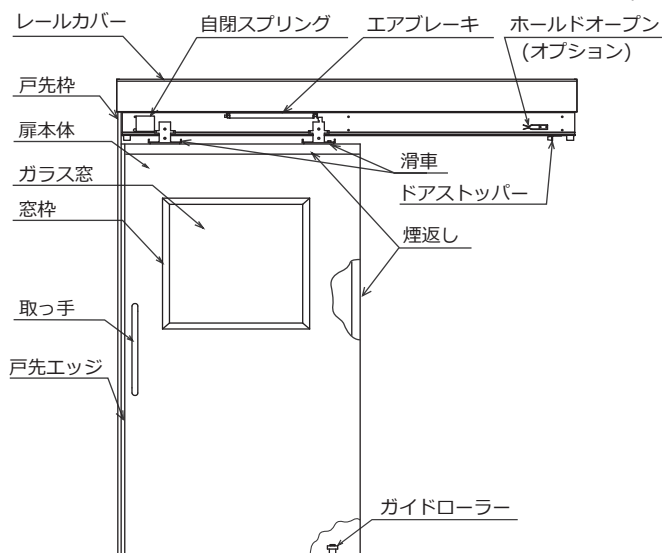
### 戸当りゴムについて

ドア施工直後、戸当りゴムは梱包状態により潰れていることがあります。時間の経過とともに元の形状に戻りますが、設置場所の環境(温度・湿度など)により戻る時間は異なります。

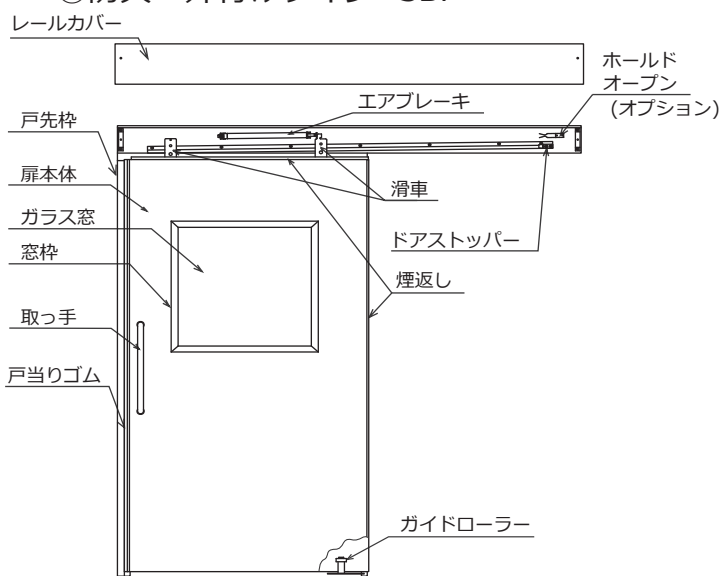
# 製品の概要

## [1] 各部の名称

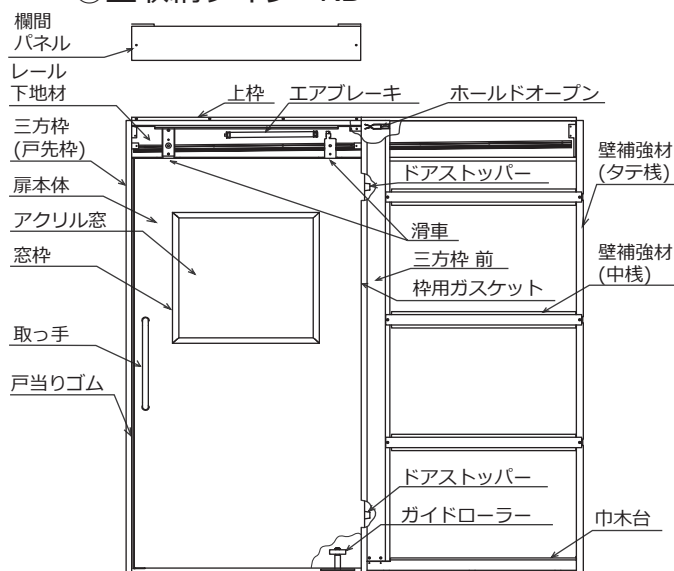
⑥防火・外付けタイプ SRF-J, SRF-Jnc  
<スプリング式>



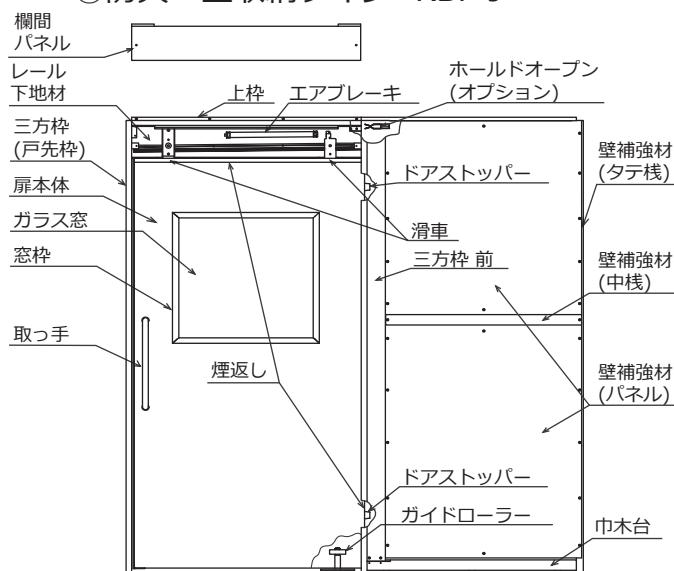
⑦防火・外付けタイプ SBF <傾斜レール式>



⑧壁収納タイプ KB <傾斜レール式>



⑨防火・壁収納タイプ KBF-J <傾斜レール式>



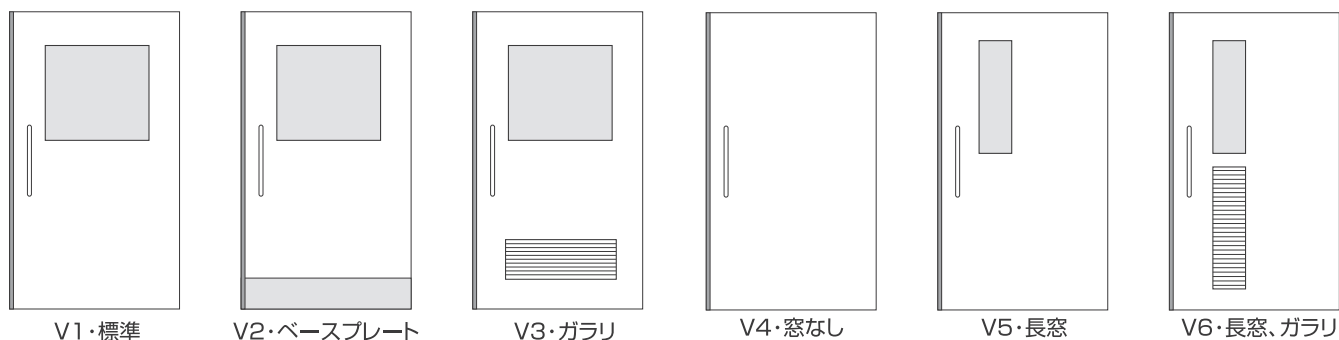
## ●使用環境

	SR, SL, SLB, SAT, SRF-J, SBF, SR2連動(RRB-a), KR, TR, KB, KBF-J	SAT-nc, SRF-Jnc
設置場所	屋内設置専用 (但し、雨や風などの影響なき場所、水・蒸気など掛らない場所)	
使用温度	0～40℃	10～25℃
使用湿度	20%～90% 但し結露、凍結なき事	20%～70% 但し結露、凍結なき事
周囲環境	塩害、亜硫酸ガス、酸、アルカリ、オゾン、有害な粉塵、雨水、腐食性雰囲気で使用しない事	

# 製品の概要

## [2] 製品の仕様

### ① ドアバリエーション



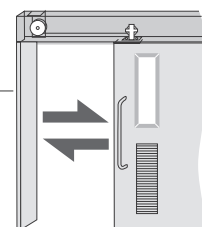
### ② 取付けバリエーション

<p><b>Stype</b> 外付けタイプ</p> <p>SR39mm・自動ドア・SL28mm・SLB39mm</p> <p>片引き (レール取付側から見て)</p> <p>引分け</p>	<p><b>Atype</b> 気密タイプ</p> <p>SAT 39mm・SAT-nc 42mm</p> <p>片引き (レール取付側から見て)</p> <p>引分け</p> <p>(引分けはSATのみ)</p>	<p><b>Wtype</b> 2連動タイプ</p> <p>SR2連動 39mm</p> <p>片引き (レール取付側から見て)</p>
<p><b>Ttype</b> 戸袋タイプ</p> <p>KR 39mm・TR 39mm</p> <p>片引き (レール・欄間/ネリ側から見て)</p> <p>引分け</p>	<p><b>Ftype</b> 防火設備(旧乙種防火戸)</p> <p>SRF-J39mm・SRF-Jnc 51mm・SBF 39mm</p> <p>片引き (レール取付側から見て)</p> <p>外付け</p> <p><b>KBF-J39mm</b></p> <p>片引き (レール・欄間/ネリ側から見て)</p> <p>壁収納</p>	<p><b>Ktype</b> 壁収納タイプ</p> <p>KB39mm</p> <p>片引き (レール・欄間/ネリ側から見て)</p> <p>引分け</p>

### ③ 自閉機構

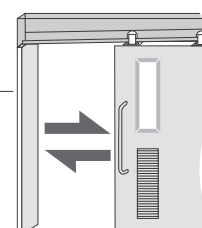
#### ■ スプリング方式 (SR・SAT・SAT-nc・SR 2連動・KR・TR・SRF-J・SRF-Jnc)

ドア上部に定荷重バネを内蔵し、その引力で作動するスプリング方式を採用しています。  
 ドア下部が床面に対して平行移動するため、安全なドアの開閉を可能にしました。



#### ■ 傾斜レール方式 (SL・SLB・SBF・KB・KBF-J)

ドア上部のレールに傾斜をつけ重力によって自閉させる、傾斜自閉方式を採用しています。



## 使用方法

### [1] 通常時の使用方法



**警告**… 必ず下記のことを守らないと重傷を負う原因になりますので、注意してください。

- ・開いているドアの間で立ち止まらないでください。
- ・台車や重たいものを持って通行する場合、ドアの反対側の人等の存在を確認してください。
- ・ドアの開閉を利用して幼児や子供を絶対に遊ばせないでください。
- ・ドアが閉まりかけているときの「出入り」は絶対にしないでください。
- ・ドアの下部、ドアと枠及びドアと戸袋の隙間に手、指、足を入れないようにしてください。



**注意**… 必ず下記のことを守らないと故障の原因になりますので、おやめください。

- ①開口部に対し、中央部で一旦立ち止まってください。
- ②壁と平行に不必要な力を加えないように横に引いてください。
- ③静かにドアを引いて開閉してください。
- ④ドア本体やレールには水を掛けしないでください。

### [2] 故障時の使用方法

- ・日常生活の妨げにならないよう、開けたままもしくは閉めたままにしておいてください。

## 日常の点検

#### ①開閉時に異常音は出ていませんか？

**処置方法** ➡ 滑車及びレールとドア下の清掃を行ってください。  
又、適宜、可動部分（滑車・レール等）に市販のシリコン潤滑スプレーを吹き付けてください。作動が滑らかになります。  
注意：油性分の多い潤滑スプレーを使いますと埃や異物等が付着する場合がありますので使用しないでください。

#### ②ドアのガタツキはありませんか？

**処置方法** ➡ ドア下の床付けしているガイドローラーがゆるんでいないか、確認してください。

#### ③ドア下にゴミや異物はありませんか？

**処置方法** ➡ 開閉に支障が出るため、取り除いてください。

## お手入れ（清掃）方法



**注意**… 故障の原因になりますので、必ず下記のことを守ってください。

- ・水を掛けて清掃しないでください。
- ・窓の亚克力板は、揮発性のもので拭かないようにしてください。表面が溶けて曇る恐れがあります。
- ・汚れが付いたら、水で薄めた中性洗剤を含ませた布等で拭き取り、乾いた布で拭いてください。
- ・定期的に滑車とレールに付いたゴミやホコリを拭き取ってください。

※常に清潔な状態でご使用ください。



# メンテナンス(定期点検)

・スライドドアを末永く、安全にお使いいただくため、定期点検と消耗部品の交換をお進めします。

機種名	交換部品	交換時期	評価基準
全機種	・戸当りゴム	目安3年又は10万回 ※開閉頻度、環境により異なります。	・開閉時の異音や異常動作 極端な劣化
	・ガイドローラー		
	・滑車 (SR2連動 連動滑車含)		
	・ドアストッパー (SL, SR2連動 下部ストッパー含)		
	・エアブレーキ	目安2年又は5万回 ※開閉頻度、環境により異なります。	・ドア閉時の異常動作 極端な劣化
SR, SAT, SAT-nc, SR2連動, KR, TR, SRF-J, SRF-Jnc	・自閉スプリング	目安3年又は10万回 ※開閉頻度、環境により異なります。	・開閉時の異音や異常動作 極端な劣化
SR, SAT, SAT-nc, SR2連動, KR, TR, KB (SRF-J, SRF-Jnc, SBF, KBF-Jはオプション)	・ホールドオープン		
SR2連動	・連動ワイヤー		
SAT, SAT-nc, KR, TR, SRF-Jnc, KB	・枠用ガスケット ・ドア用ガスケット (SAT, SAT-nc, SRF-Jnc)	目安2年又は30万回 ※開閉頻度、環境により異なります。	・修正不能な切れ、剥がれ 極端な汚れ、劣化

## 製品保証



### 警告…

この製品の保証に関する説明です。保証期間・保証内容など確認してください。

[対象] スライドドア

#### 1. 無償保証期間：

- (1) 製品引渡し後1年間とします。
- (2) 無償保証期間中又は後で点検・修理した場合でも、保証期間は延長されません。修理交換した部品についても同様です。

#### 2. 無償保証範囲：

- (1) 標準仕様書、施工説明書及び取扱説明書に基づく正常な使用状態で、無償保証期間中に生じた故障、不具合は無償保証とします。但し、遠隔地や離島への出張修理の場合は、交通に要する実費を頂く場合もあります。
- (2) 無償保証の範囲外であっても、設計上や製造上、施工上 その他明らかに当社の責任により生じた不具合に及び重大事例については、無償保証扱いとします。
- (3) 無償保証期間中に発生した不具合については、不具合箇所の交換の範囲で無償とします。
- (4) 無償保証期間は、当社が製品を出荷し、製品引渡し(納入)した時点から起算されます。但し、当社が施工を請負った物件については、施工完了日を起点とします。

#### 3. 無償保証除外項目：

- (1) 顧客の使用上の操作誤りによる故障、製品への損傷。
- (2) 顧客の不適切な修理や改造による故障、製品への損傷。
- (3) 製品仕様を外れた特殊な環境下(塩害、亜硫酸ガス、酸、アルカリ、オゾン、有害な粉塵等)での使用による故障、製品への損傷。

- (4) 製品の許容仕様範囲を超える状況下(異常な温度・湿度、過度の開閉角度・開閉頻度、長時間の水浸等)での使用による故障、製品への損傷。
- (5) 天災地変(火災、地震、風水害、凍結等)による故障、製品への損傷。
- (6) 消耗部品の損傷。
- (7) 製品の納入(販売)のみで、当社が施工を請負っていない場合で、施工上の問題と思われるもの。
- (8) 特注仕様製品で当社品質部門が品質保証しない製品の故障、製品への損傷。
- (9) 予め使用環境及び使用方法に問題があると、当社より申し入れしたのにも拘わらず、顧客の要請で出荷した製品及び施工をした製品の故障、製品への損傷。
- (10) 製品引渡し後の、輸送・移動・落下・移設等による故障、製品への損傷。

#### 4. 生産中止後の有償修理期間：

- (1) 製品の生産中止後10年間は、有償修理工事及び修理用部品の受注受付けは可能です。生産中止の情報は、当社セールスとサービス等から報じさせていただきます。

#### 5. 輸出製品に関する特例事項：

- (1) 海外輸出品については、当社と輸出販売店間で「取引基本契約書」を取交し、製品保証範囲を規定します。「取引基本契約書」を取交していない製品については、製品保証は対象外とします。

# メンテナンスに関するお問合せは

株式会社 **ユニフロー** エンジニアリング部

東日本 ☎ 0120-504-226

西日本 ☎ 0120-590-226

.....MEMO.....

株式会社 **ユニフロー**

URL <https://www.uniflow.co.jp>

本	社	〒141-0031	東京都品川区西五反田2-30-4	BR五反田	TEL(03)5719-6700	FAX(03)5719-6699																															
大	阪	支	店	〒532-0002	大阪市淀川区東三国4-3-1	TEL(06)6392-1345 FAX(06)6392-1346																															
名	古	屋	支	店	〒461-0004	名古屋市東区葵2-12-1 TEL(052)930-5701 FAX(052)930-5708																															
福	岡	支	店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前4-24-23	TEL(092)472-6931 FAX(092)473-4919																															
礼	幌	営	業	所	〒060-0907	札幌市東区北7条東3-28-32 TEL(011)712-0671 FAX(011)712-0672																															
仙	台	支	店	〒983-0039	仙台市宮城野区新田東1-15-7	TEL(022)782-1541 FAX(022)231-8566																															
関	東	営	業	所	〒367-0206	埼玉県本庄市児玉町共栄540-15 TEL(0495)72-9700 FAX(0495)72-9702																															
広	島	営	業	所	〒732-0052	広島市東区光町1-12-16 TEL(082)263-7800 FAX(082)263-3345																															
埼	玉	工	場	〒367-0206	埼玉県本庄市児玉町共栄540-15	TEL(0495)72-5771 FAX(0495)72-5770																															
上	海	尤	宜	福	羅	国	際	貿	易	有	限	公	司	上	海	市	徐	匯	区	凱	旋	路	3131	号	明	申	中	心	大	厦	19	楼	郵	編	200030	TEL(86)021-64862319	FAX(86)021-64686259
シ	ン	ガ	ボ	ー	ル	UNIFLOW INTERNATIONAL PTE.LTD.																															
													81, UbiAvenue 4, #07-07 UB.one, Singapore 408830	TEL(65)6536-3239																							



MM50 防滴仕様  
リニアモータ式自動ドアエンジン

 **Linear Engine**

# 取扱説明書

**UNIFLOW**

## 目 次

	ページ
～安全にお使いいただくために～	… 2
1. 各部の名称と働き	… 4
2. 学習動作	… 5
3. 調整	
(1)開閉速度	… 5
(2)開停止時間	… 6
4. アシスト起動	… 6
5. センサ、スイッチ起動	… 6
6. セーフティリターン機能	… 6
7. ラチェット動作	… 7

## ～安全にお使いいただくために～

以下の内容について、ご使用前に必ずお読み頂き、正しく安全に末永くご使用ください。

### 【絵表示・図記号の説明】



・人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



・人が怪我をしたり、財産に損害をうけるおそれがある内容を示しています。



・してはいけない内容を示しています。



・しなければならない内容を示しています。



・気をつける必要がある内容を示しています。



・覚えておくに役立つ情報などを示しています。

### 警告



雷が鳴り始めたら、電源スイッチ等に触れないでください。  
※落雷による感電のおそれがあります。



清掃は、電源を切ってから行ってください。  
清掃には中性洗剤液を含ませた柔らかい布を、固く絞って使用してください。  
※電源を切らずに清掃をおこなうと、清掃中に戸が動き出し、指を挟み込んだりする恐れがあります。

### 注意











煙が出ている、変な臭いがするなどの異常を感じた時は、コントローラの電源スイッチを切るかドアエンジンが接続されている系統のブレーカーをOFFにしてください。  
※直ちに施工店もしくは販売店に点検をご依頼ください。



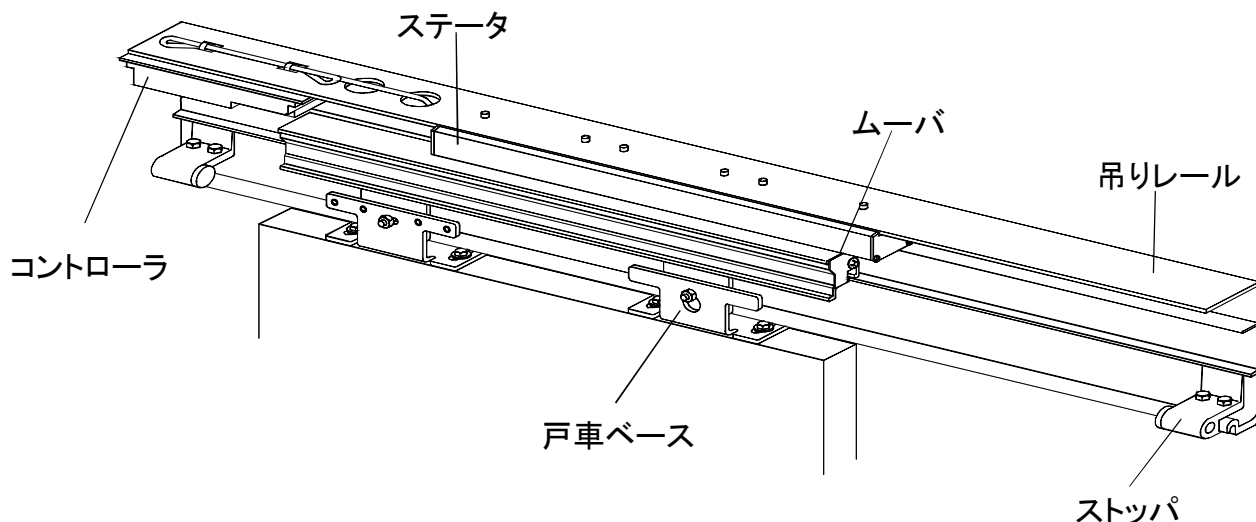
湯気などが、ドアエンジンに直接かからないようにしてください。  
また、ドアエンジンの真下に、暖房装置や加湿器を置かないでください。  
※内部に結露等が発生し、火災や感電および故障のおそれがあります。

## 注意

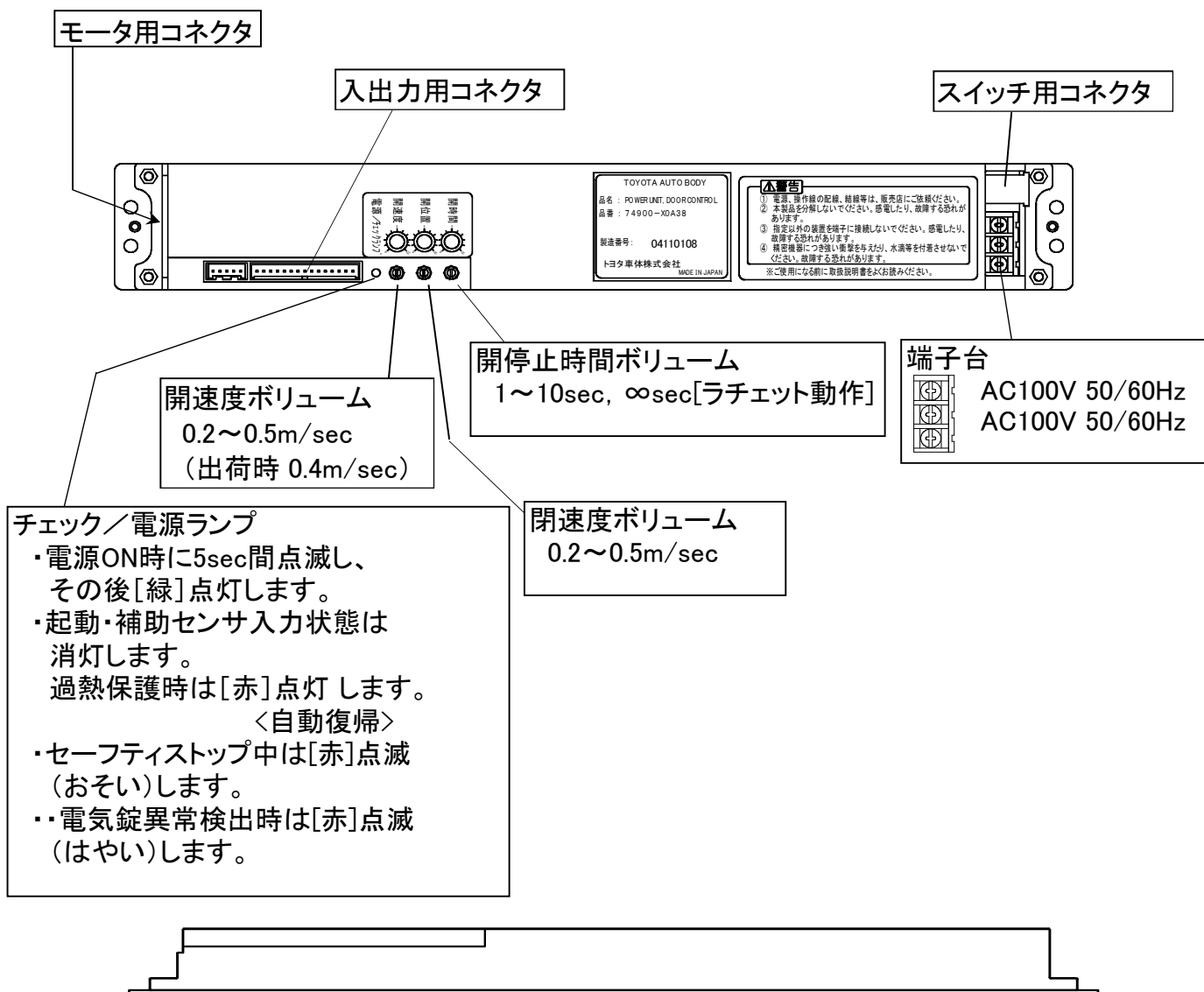
-  作動直後は、ドアエンジン内部が高温になっている部分があります。  
手や溶けるようなものを差込まないようにしてください。
-  ドアにぶつかったり、寄りかからないでください。  
※破損等、機能に影響を及ぼすおそれがあります。
-  殺虫スプレーや洗剤スプレーなどを、ドアエンジンに直接吹きかけないでください。  
※部品の変色や変形の原因になります。
-  お部屋の模様替え等で家具の移動時、ドアエンジンに物をぶつけない様に気をつけてください。  
※レール変形により、動作不良や異音発生となるおそれがあります。
-  ドアにレターケースのように、ゆれ動くようなものを吊り下げないでください。  
※センサの誤入力等、動作不良の原因になります。
-  旅行等で長期間ご使用にならない場合は、ドアエンジンの電源を切っておくか、ブレーカーをOFFにしておいてください。
-  電源投入直後および、停電後の最初の1回目の往復は学習動作を行いません。  
通常の動作に比べて、開閉のスピードが異なりますのでご注意ください。  
※学習動作に付いて、詳しくはP. 5 をご覧ください。
-  ドアは施工後からしばらくすると、建設条件や、納入設備等の影響で建付けが変化することがあり、施工直後は問題無く動作していても、後日再調整が必要になる場合があります。動きがおかしいと感じたら、施工店・販売店へ調整をご依頼ください。

# 1. 各部の名称と働き

## ◆リニアエンジン



## ◆コントローラ



## 2. 学習動作について

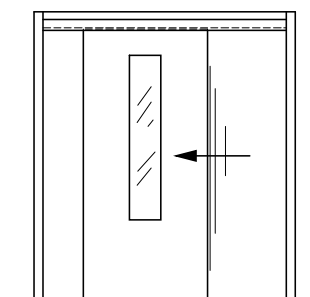
電源投入は、ドアエンジン部に設けた電源スイッチを操作します。  
電源投入直後や停電直後の1回目の動作は、ドアの開閉ストロークを計測するための学習動作を行いません。  
スイッチをONにすると、コントローラの電源ランプ[緑]が5秒点滅した後に点灯状態になります。



緑色発光は  
・電源ON/OFF状態  
・センサーによる障害物検出(検出時に消灯)  
赤色発光は  
・過熱保護状態(保護時点灯)  
・セーフティストップ(ストップ時おそい点滅)  
・電気錠の異常(異常時はやい点滅)

- ・ドアが全閉位置にある場合、  
起動入力もしくはドアを開く方向へ2cm以上動かしてください。  
ドアがゆっくりと、自動で全開まで動きはじめます。  
全開まで動き、その後、閉まってきます。
- ・ドアが全閉以外の位置にある場合、  
ドアがゆっくりと、自動で全閉まで動きます。

電気錠仕様の場合は、ドア全閉後に施錠します。

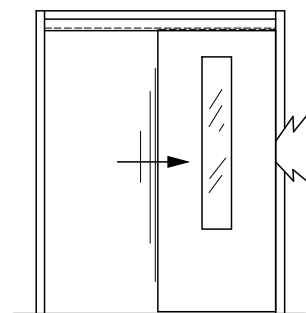
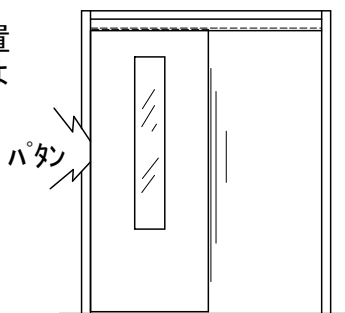


センサーの検出エリア内に入っていると、全開位置からドアが閉まってきません。

一旦全開まで開き、そのあと全閉位置までドアが動いて停止すれば、学習は終了したことになります。



全閉位置でドアが止まらず、勝手に開く場合は、エンジンが水平に取り付けられていません。施工店・販売店に調整を依頼してください。



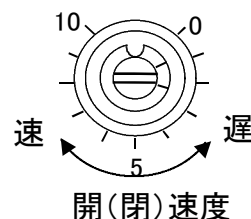
## 3. 調整

### (1) 開閉速度

速度調整ボリュームで、開閉速度を調整できます。  
調整範囲は、0.2~0.5m/sで、右に回すと速くなります。  
出荷時は、開速度0.4m/s、閉速度0.3m/sに設定されています。

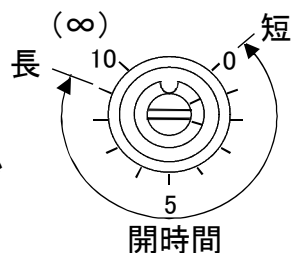


調整ボリュームは、細い”-”ドライバーで、軽く回してください。強く回すと、ボリュームが破損することがあります。



## (2) 開停止時間

開位置での停止時間を調整できます。  
調整範囲は、目盛「0」～「9」で、1～10秒になり、右に回すと長くなります。出荷時は、目盛「2」で、3秒です。  
ただし、最大目盛「10」まで回すと停止時間は∞(無限大)秒となり、開端で停止状態になります。  
(次ページのラチェット動作参照)



## 4. アシスト起動

本製品は、標準でアシスト起動の機能をもっています。

開く方向に、2cm程度動かせばあとは自動で全開までドアが開き、その後、自動で閉まります。



## 5. センサ、スイッチ起動

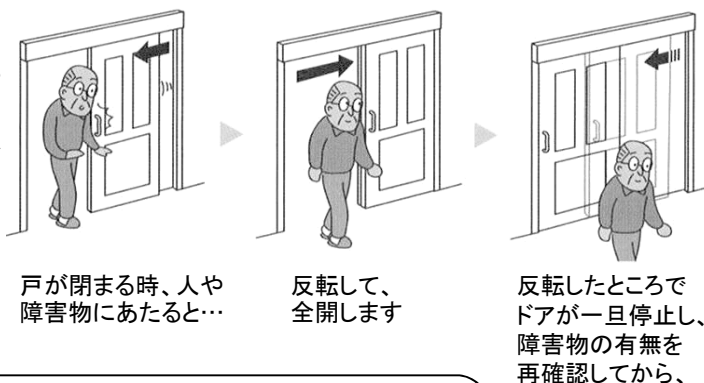
アシスト起動以外にも、センサ、スイッチ等を取付けて起動させることが可能です。  
センサ、スイッチ等については、それぞれの機器の取扱い説明書をご確認ください。



ラチェット動作モードには、適さないセンサがありますので、施工店、販売店にご相談ください。

## 6. セーフティリターン機能

リニアエンジンのコントローラは常にドアの位置と速度を監視しています。閉動作途中で障害物に当たり、ドアの速度が大きく低下した場合に反転、全開します。



セーフティリターン後の動作について

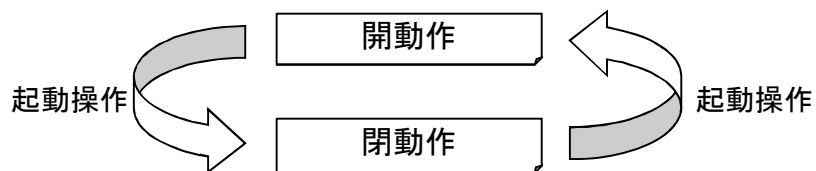
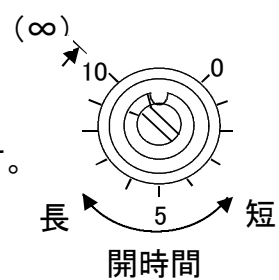
反転して全開後の閉じる時に、障害物に当たった所で一旦停止してから全開します。  
もし、同じ所に障害物がある場合はそこで停止をし、以降そこからの開閉動作となります。



## 7. ラチェット動作

開時間調整ボリュームを最大目盛「10」にすると  
ラチェット動作モードになります。

ラチェット動作とは、起動操作により全開動作し停止、  
ふたたび起動操作を行うと全閉動作を繰り返すモードです。  
動作終了後、次の起動操作まで停止します。



MM50 防滴仕様  
リニアモータ式自動ドアエンジン

 **Linear Engine**

# 組付説明書

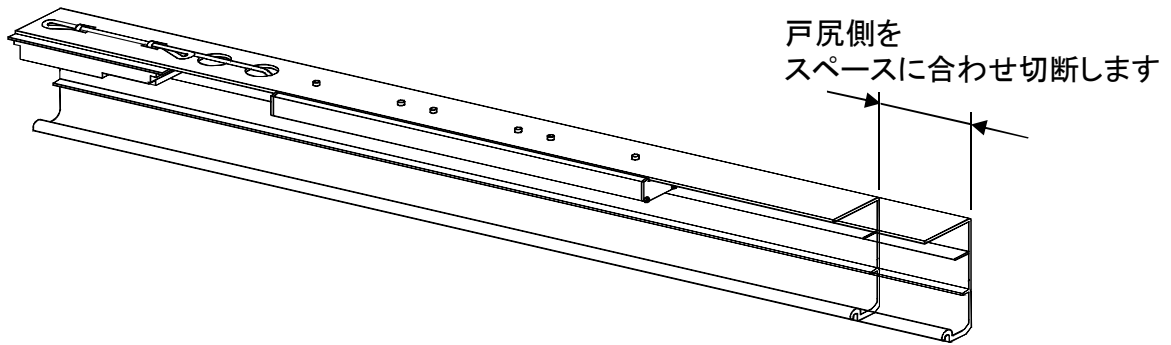
**UNIFLOW**

## 目 次

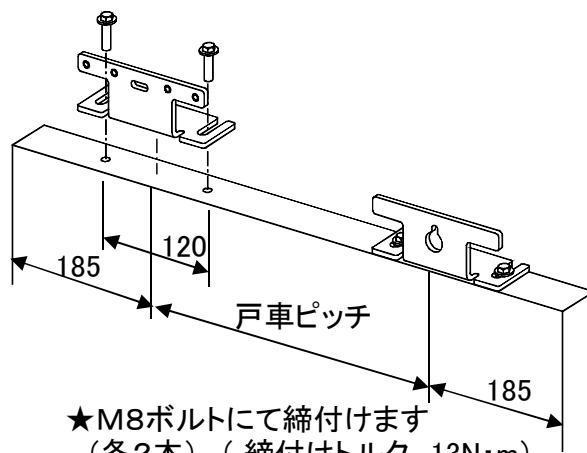
	ページ
1. 吊りレールのカット	2
2. 戸車ベースの取付け	2
3. 戸車ピッチの調整	2
4. エンジンの取付け	3
5. ドアの取付け	
(1) ドアの仮置き	3
(2) ドアの吊り込み	3
6. ストツパの取付け	4
7. ムーバ位置の確認	5
8. 入出力系の取付け	
(1) センサアンプの取付け	6
(2) 電源スイッチの取付け	6
(3) 結線	6
(4) 配線の処理	7
9. コントローラ別置きタイプ及びセンサアンプ取付けの注意点	
(1) コントローラの取付けについて	7
(2) センサアンプの取付けについて	8
10. ドア開閉フィーリングの調整	
(1) ドア閉端押付けの切替え	8
(2) ドア開閉フィーリングの調整	9

## 1. 吊りレールのカット

★コントローラ、ステータに切粉が入らないよう、  
梱包ビニルシート等で 必ず保護してください



## 2. 戸車ベースの取付け

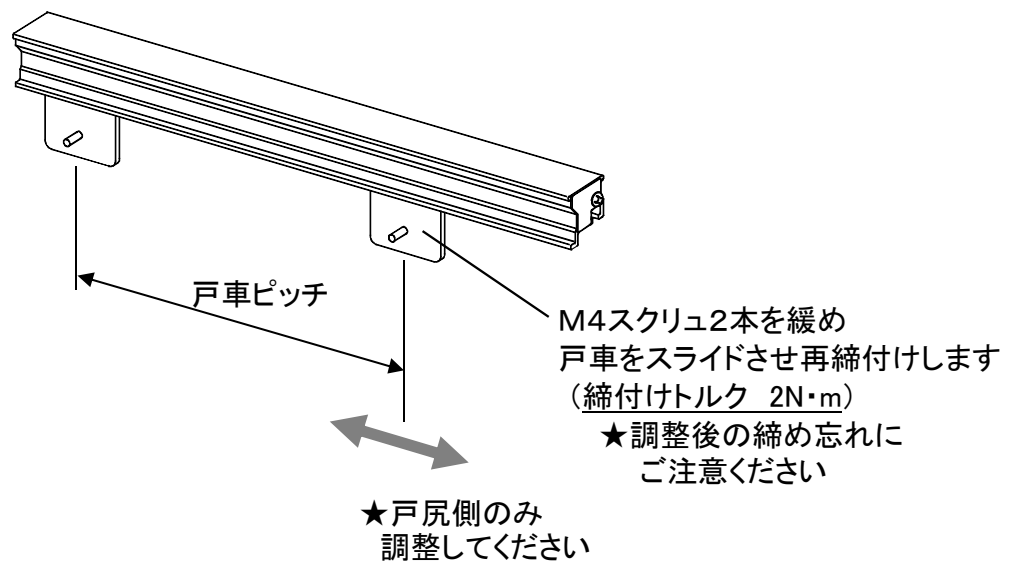


★M8ボルトにて締付けます  
(各2本) (締付けトルク 13N・m)

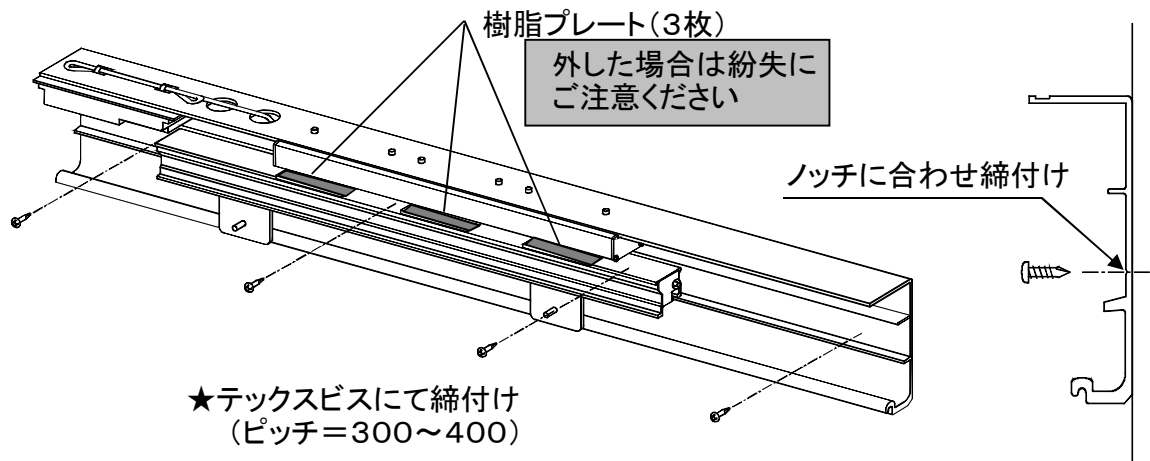
☆戸車ベースの取付け位置は、ドア両端より図中寸法以上内側にしないでください  
戸車ピッチが小さくなると、ガタツキ等ドアの動きに影響が出る場合があります

## 3. 戸車ピッチの調整

☆戸車ベースのピッチに合わせるため、戸車ピッチを調整します



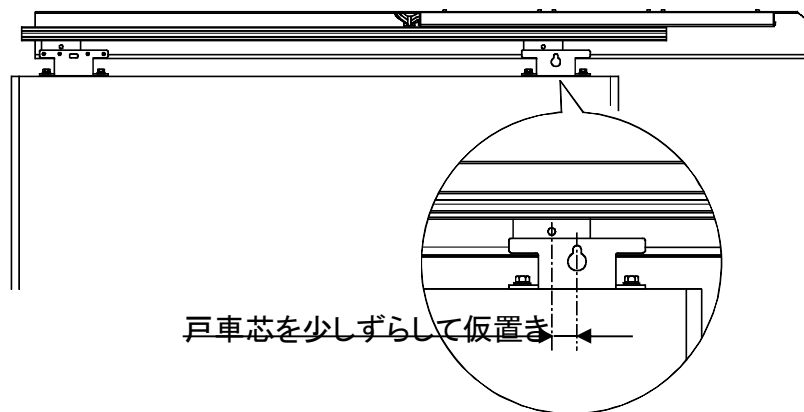
## 4. エンジンの取付け



☆コントローラ別置きタイプの場合、P. 7の取付け注意点に留意してください

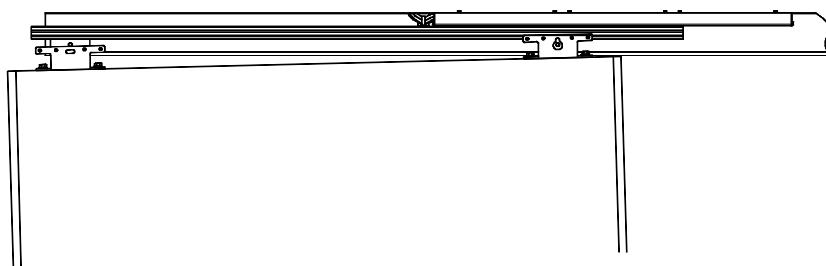
## 5. ドアの取付け


### (1) ドアの仮置き

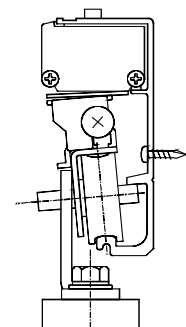
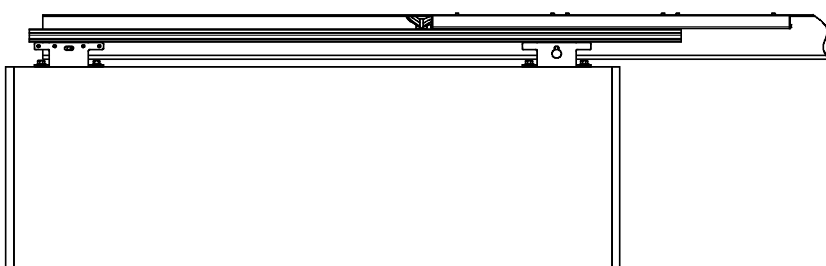


### (2) ドアの吊り込み

—はじめに  穴側をムーバに掛ける—

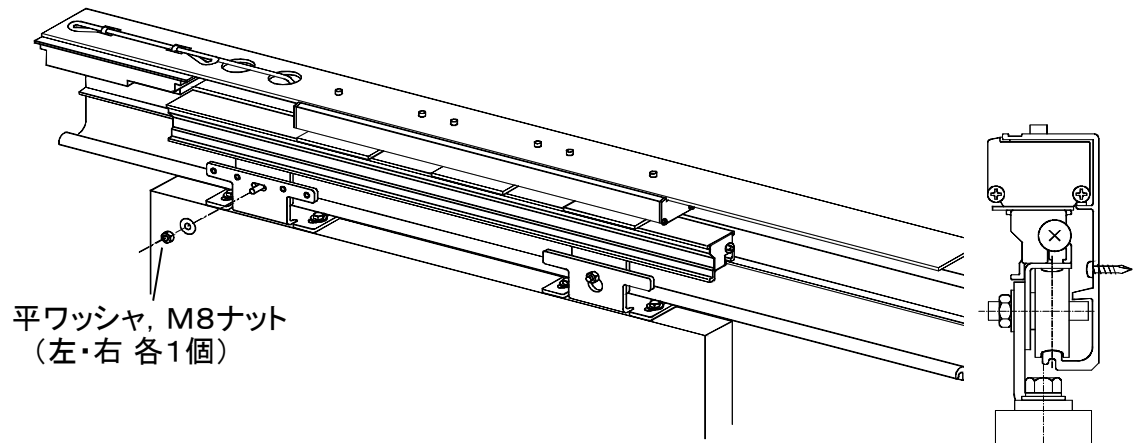


—つづいて  穴側を掛ける—



<ドアを掛けた状態>

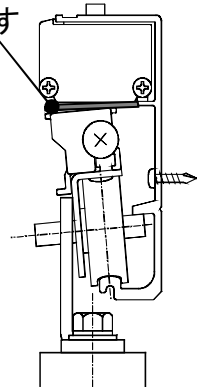
—M8ナットによる締付け—



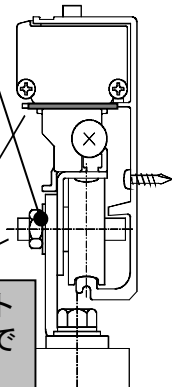
<ナット締付け状態>

《手順》

①開梱時挟み込んであった樹脂プレート(3枚)をムーバとステータ間に等間隔ではさみ込みます

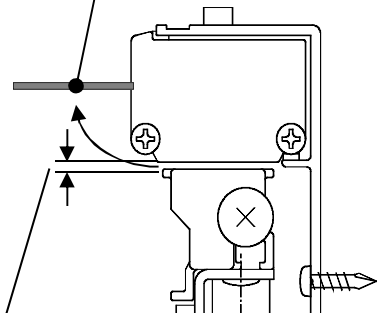


②平ワッシャを介してナットを締付けます (締付けトルク 13N・m)



必ず樹脂プレートをはさんだ状態で締付けください

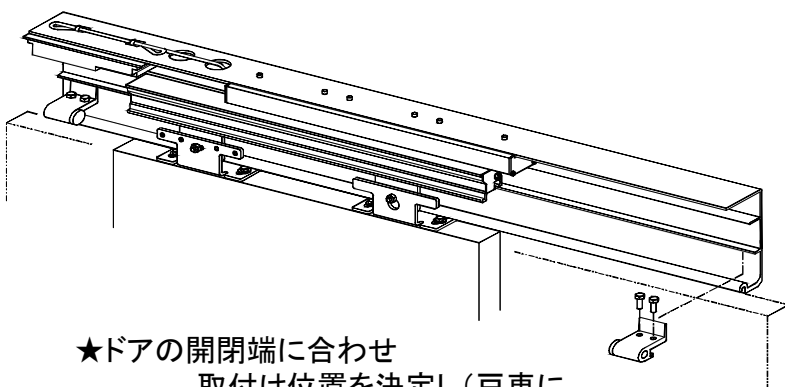
③樹脂プレートを外します



隙間がほぼ均一で上下が接触しないことを確認してください

樹脂プレートのない状態で締付けると、ムーバとステータが接触することがありますので、必ず樹脂プレートを挟んでください。外した樹脂プレートは、後々のメンテナンスに備え、エンジン空きスペースに保管してください。

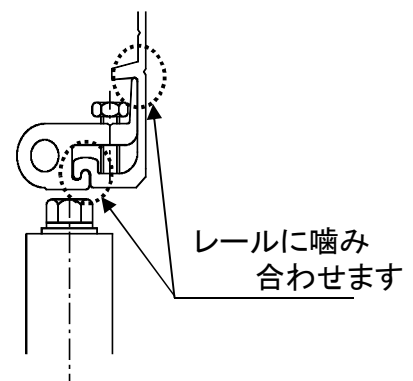
6. ストップの取付け



★ドアの開閉端に合わせ

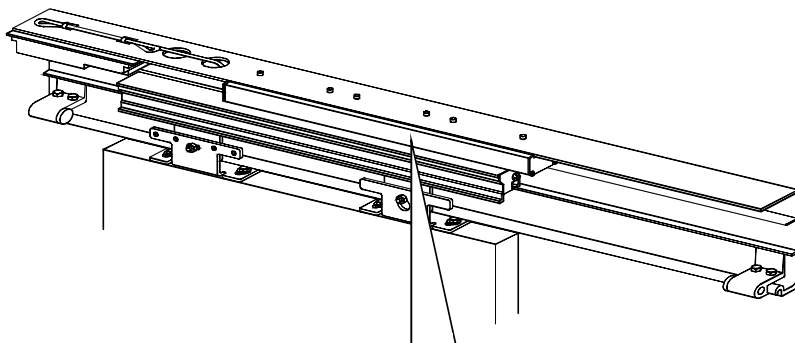
取付け位置を決定し(戸車に

ストップのゴムを当てる)締付けます M6ボルト(各2本) 締付けトルク 4N・m



レールに噛み合わせます

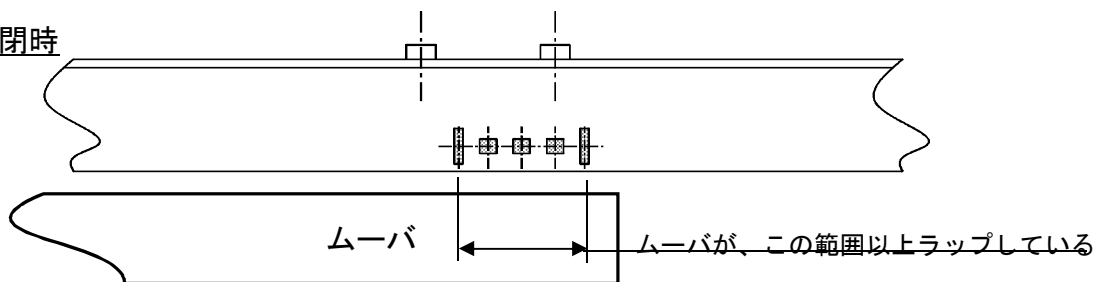
## 7. ムーバ位置の確認



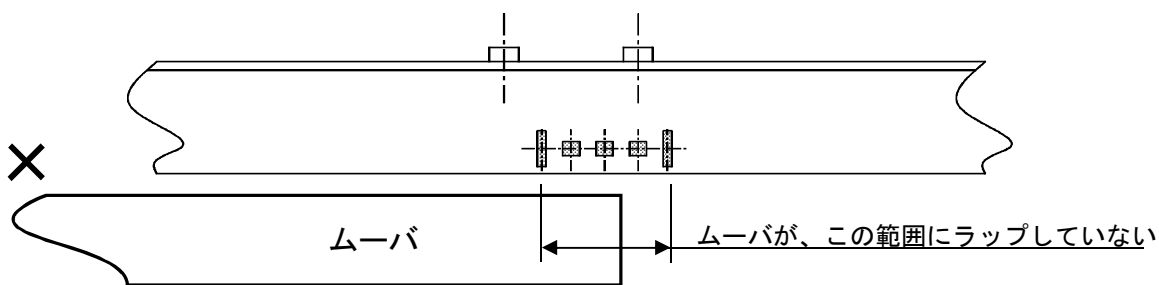
・ステータに付いているマーキング(白色)とムーバのラップ状態を確認します。

### ◆ドア全閉時

○

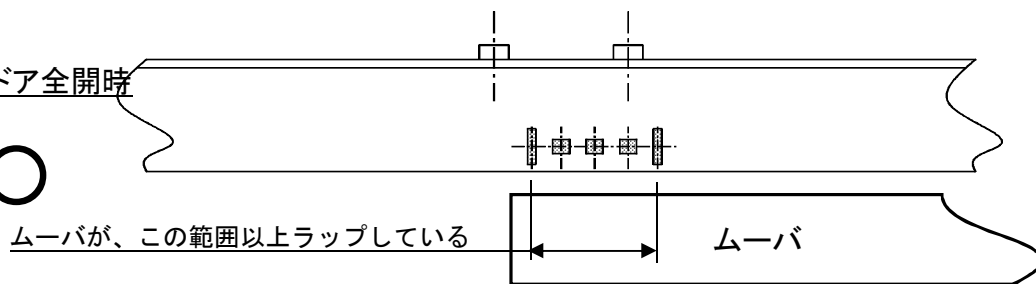


×

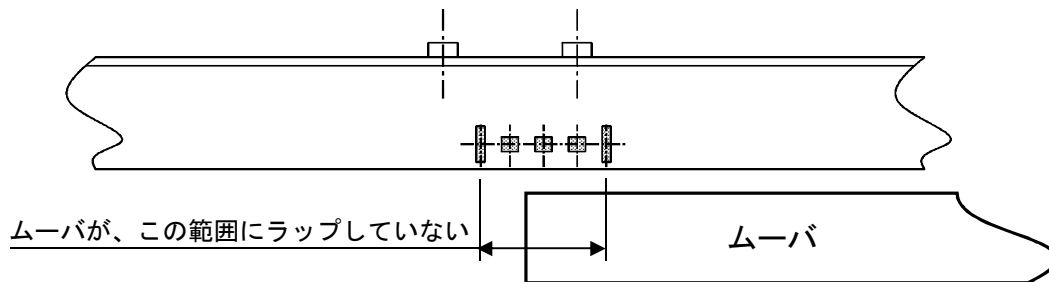


### ◆ドア全開時

○



×

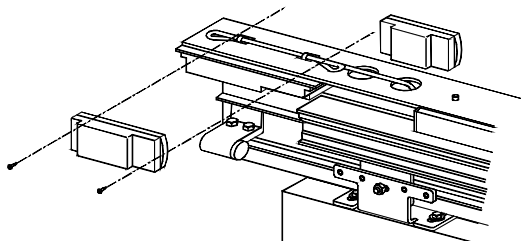


ムーバが上記”○”の状態になっていない(センサ外れを起こしている)と、動作不良の原因になります。  
 ”×”の状態になっている場合はムーバ位置の調整やストロークを変更し、必ず”○”の状態になるように調整を行ってください。



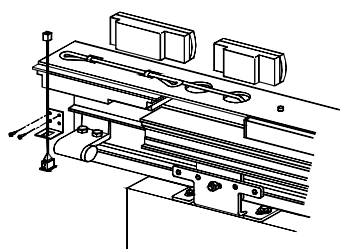
## 8. 入出力系の取付け

(1) センサアンプの取付け (P. 7の取付け注意点に留意してください)

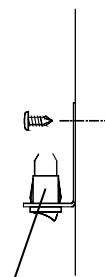


★テックスビスにて締付けます (各2本)

(2) 電源スイッチの取付け



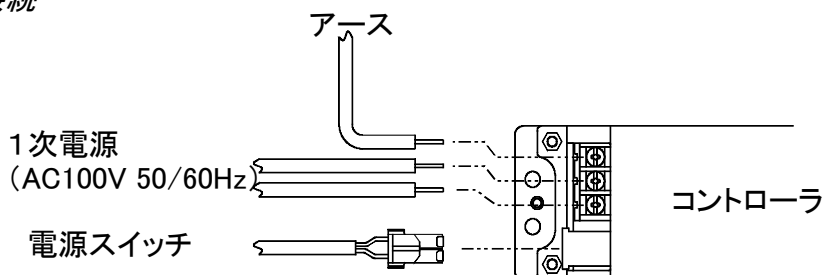
★レール戸先側の壁面、又は電気錠を除けた位置にテックスビスにて締付けます (2本)



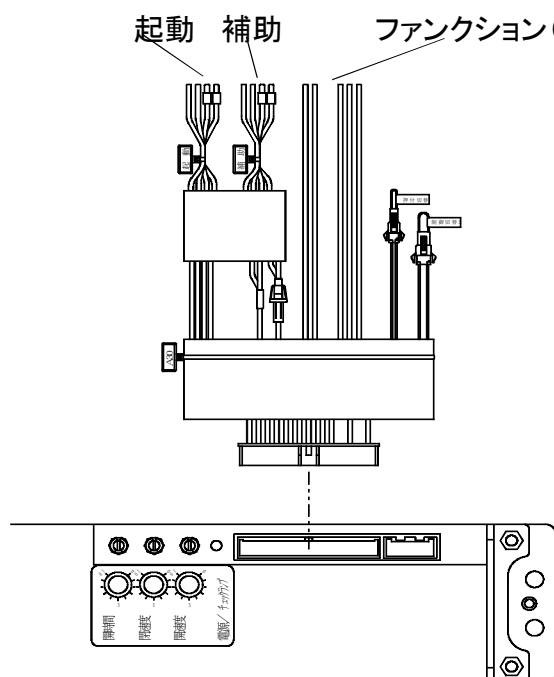
締付け後はめ込み

(3) 結線

—電源の接続—



—センサの接続—



起動

赤	起動入力
緑	COM
黒	AC100V
白	AC100V

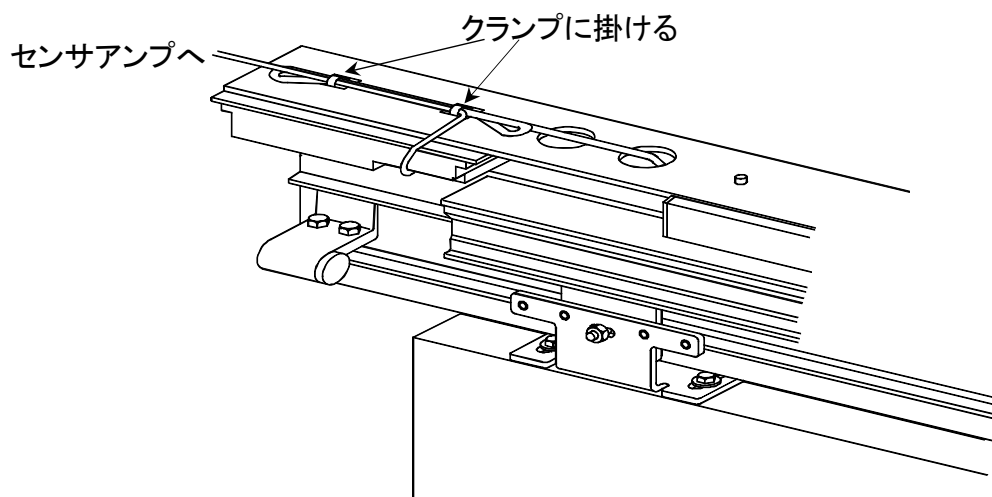
補助

赤	補助入力
緑	COM
黒	AC100V
白	AC100V

ファンクション

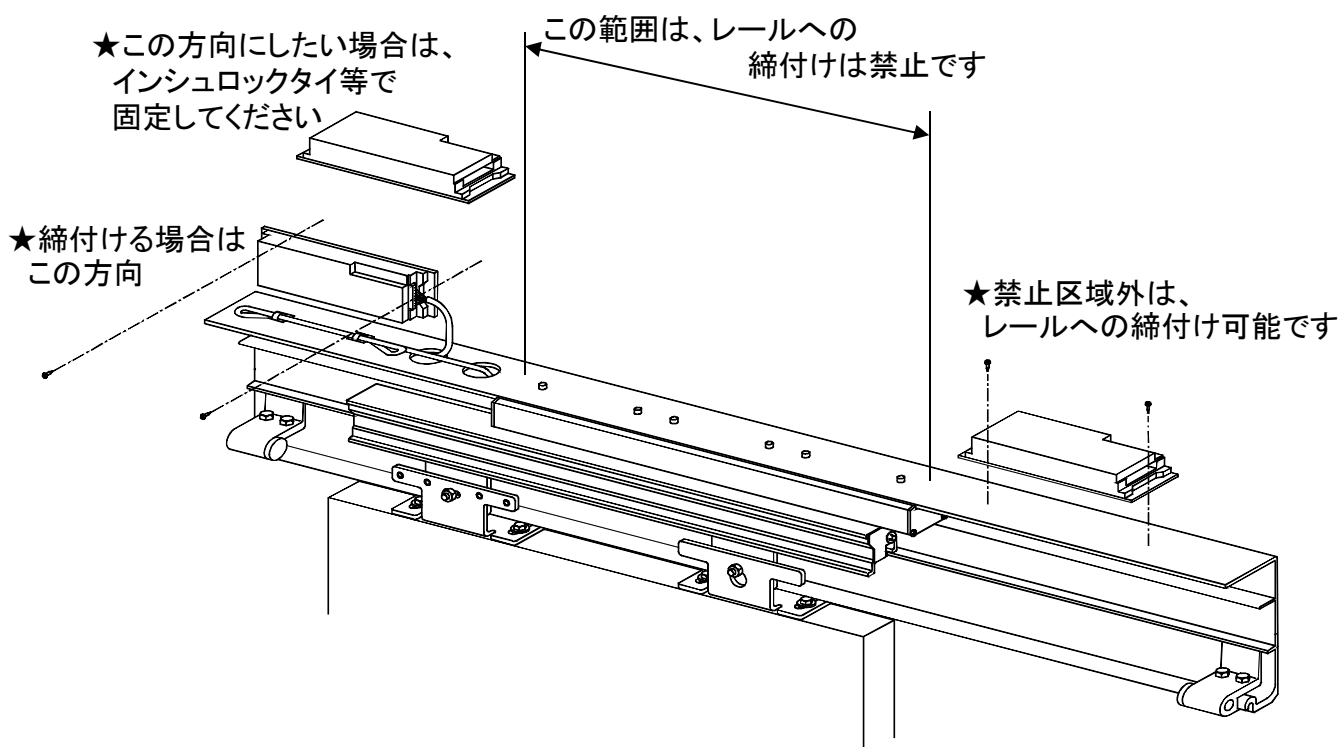
黄	ドア閉端信号出力
青	COM(閉端出力)
紫	引分け通信信号入力
橙	引分け通信信号出力
緑	GND

#### (4) 配線の処理

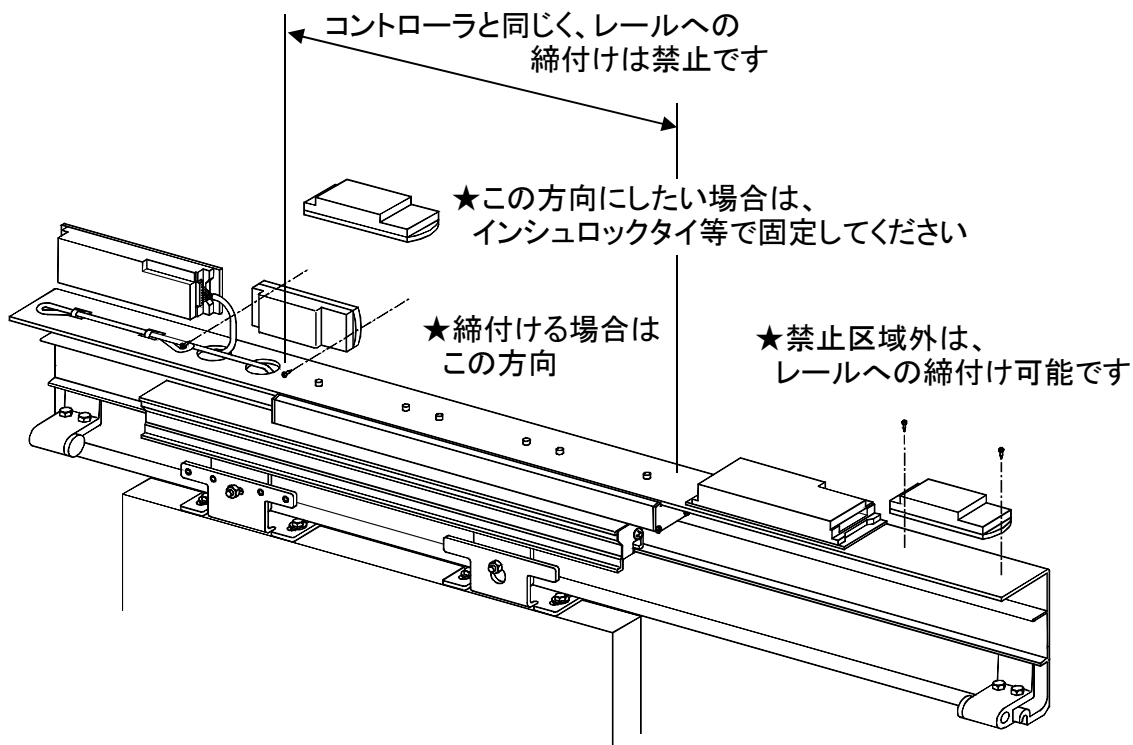


### 9. コントローラ別置きタイプ及びセンサアンプ取付けの注意点

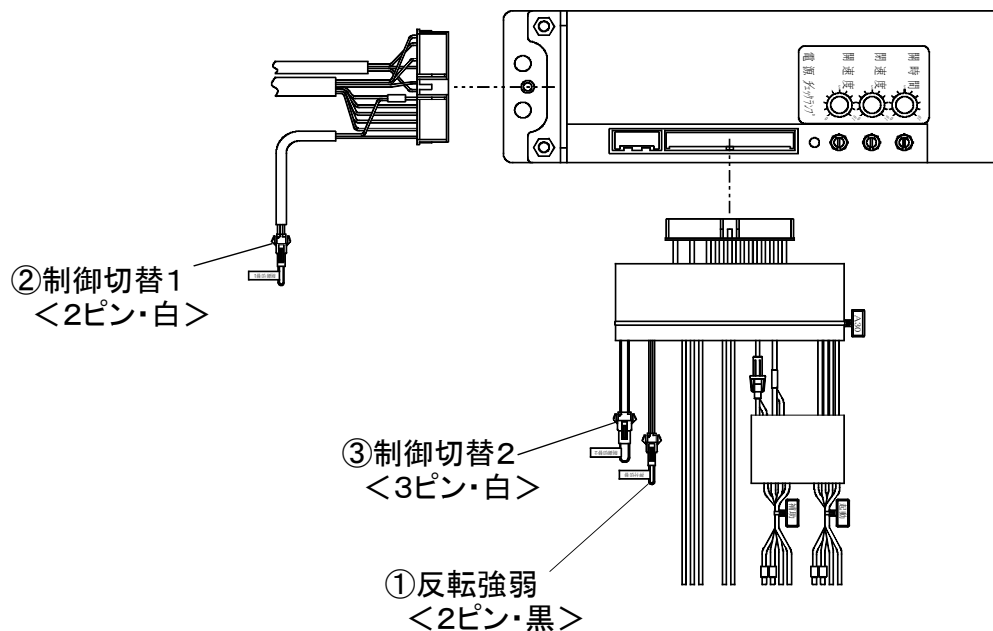
#### (1) コントローラの取付けについて



(2) センサアンプの取付けについて  
 (吊りレール全域において、内側に取付けないでください)



## 10. ドア開閉フィーリングの調整



(1) 反転感度の切替え

①反転強弱 ピン接続	強・弱
有	強
無	弱

←出荷状態

(2) ドア開閉フィーリングの調整

感度レベル	②制御切替1	③制御切替2	適用ドア(目安)	
			巾	重量
I	有	無	1000~1400	40~50
II	有	有	1000~1400	30~40
III	無	有	800~1000	20~30
IV	無	無	800~1000	20~25

←出荷状態

★対応ドアはあくまで目安であり、実際にドアフィーリングを確認しながら調整してください。  
例) ドア幅: 1200mm、ドア重量: 40kgの場合

はじめに上表に従って感度レベルを”II”=出荷状態(②制御切替1と③制御切替2を接続)に合わせ、動作させます。

- 端での制動(ブレーキ)が弱く、衝突気味になる場合は感度レベルを”I”(③制御切替2を外す)にします。
- 端での制動(ブレーキ)が強く、ドアが踊る場合は感度レベルを”III”(②制御切替1を外す)に、または感度レベルを”IV”(②制御切替1と③制御切替2を外す)に調整します。

外したコネクタは無くさないよう、保管に留意ください。  
(近くへテープ付けするなど)